

元日や 上々吉の 浅黄空 江戸時代の俳人、小林一茶の作。「上々(じょうじょう)吉(きち)」とは、このうえなくよい、という意味。「浅黄(あさぎ)」
 わずかに緑色を帯びた薄い青色のこと。今年の元旦は、とびきり上等の元旦だ。真青な空もなんと気持ちのよいことか、というめでたい句。

高校 (D)

俳句

元日や 上々吉の 浅黄空 江戸時代の俳人、小林一茶の作。「上々(じょうじょう)吉(きち)」とは、このうえなくよい、という意味。「浅黄(あさぎ)」
 わずかに緑色を帯びた薄い青色のこと。今年の元旦は、とびきり上等の元旦だ。真青な空もなんと気持ちのよいことか、というめでたい句。

元日や 上々吉の 浅黄空 江戸時代の俳人、小林一茶の作。「上々(じょうじょう)吉(きち)」とは、このうえなくよい、という意味。「浅黄(あさぎ)」
 わずかに緑色を帯びた薄い青色のこと。今年の元旦は、とびきり上等の元旦だ。真青な空もなんと気持ちのよいことか、というめでたい句。

高校 (D)

俳句

元日や 上々吉の 浅黄空 江戸時代の俳人、小林一茶の作。「上々(じょうじょう)吉(きち)」とは、このうえなくよい、という意味。「浅黄(あさぎ)」
 わずかに緑色を帯びた薄い青色のこと。今年の元旦は、とびきり上等の元旦だ。真青な空もなんと気持ちのよいことか、というめでたい句。